

平成30年度 渡島西部森林室立木販売重点目標

渡島西部 森林室

1 地域材を活用した地域の取組みの促進

管内の治山事業において、スギ低質材が土木用資材として活用出来ることから供給を求められているため、販路拡大を図り、需要が低迷しているスギ人工林材の有効活用を促進させる。

主伐箇所特に老齢化し原料材主体林分となったトドマツ人工林において協定による販売を行い、木質バイオマスの有効活用を図る。

長期協定により、計画的な雇用の確保及び道有林材の供給を推進する。

2 木質バイオマス燃料材の安定供給

管内に原料材中間土場の建設計画があり、新たにスギ低質材・林地未利用材の需要拡大が見込めることから、関係各社から情報の収集等を行うと共に、オープンカウンター方式や事業者からの提案に応じた販売など、多様な販売方法を行い木質バイオマスの供給を図る。

3 販売目標量

(1) 総販売量
17,700 m³

(2) 協定販売
3,200 m³ (うち新規 m³)

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
m ³	m ³	3,200m ³	m ³

(3) 長期安定供給販売
3,500 m³ (うち新規 3,500 m³)

(注) 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。